

# YOUR LIBRARY

AUTUMN ISSUE 2011.10.24 no. 16

## 読書ナビ

### 映画を生きることば

第36回

現代心理学部教授・中村秀之



- 1 ジョナス・メカス著 飯村昭子訳  
『メカスの映画日記 ニュー・アメリカン・シネマの起源 1959-1971』  
(フィルムアート社 1993年)
- 2 ジャン=リュック・ゴダール著 アラン・ベルガラ編 奥村昭夫訳  
『ゴダール全評論・全発言 I』(筑摩書房 1998年)
- 3 万田邦敏著『再履修とつても恥ずかしゼミナール』(港の人 2009年)
- 4 蓮實重彦著『蓮實重彦の映画の神話学』(泰流社 1979年)
- 5 上野昂志著『映画全文 一九九二〜一九九七』(リトル・モア 1998年)
- 6 鈴木一誌著『画面の誕生』(みすず書房 2002年)
- 7 橋本治著『虹のラルゴオル』(講談社 1991年)
- 8 土本典昭著『映画は生きものの仕事である 土本典昭 私論・ドキュメンタリー映画』(未来社 1974年)
- 9 ロベール・ブレッソン著 松浦寿輝訳『シネマトグラフ覚書 映画監督のノート』(筑摩書房 1987年)
- 10 アンヌ・ヴィアゼムスキー著 國分俊宏訳『少女』(白水社 2010年)

「映画を生きている」としか言いようのないことばが読める本を厳選しました(順不同)。

1 ナチスを逃れて難民としてアメリカに渡り、非商業映画の旗手となった作家による批評的コラムの集成。ジャンルを越境する率直なまなざしが映画という生命の輝きを捉える。2 『勝手にしやがれ』で衝撃的デビューを飾る前の若き批評家時代の文章に注目！著者のたくいまれな身体能力が画面の動きにシンクロする躍動的な文体が実にスリリング。3 私のような「再履修者」もさることながら、やはり若い世代に積極的に「履修」してほしい、とてもダンディーで面白すぎるゼミナール。先駆的なテレビ評も必読。4 映画を観ると自己崩壊すれすれの限界体験を言語で反復しようとする果敢な冒険。5 著者の文章にはいつも哄笑し、涙し、鼓舞されるのだが、それはことばに対するその真摯な姿勢ゆえである。今や知る人ぞ知る名著『沈黙の弾機』も探して読んでほしい。6 著名な

ブックデザイナーの評論集。その文体にも緻密な手仕事の感触がある。「自分の時間は、自分に流れているのではなく、他者を思う時間のなかにある」(『HANA-BI』)。7 立教の図書館が所蔵していない幻の本(?)を一冊挙げる。友情にも似た共感と洞察に満ちた女優論だが、著者の他の仕事と同様、知的で繊細な「人生論」にもなっている。8 優れた記録映画作家である著者は、運動に寄り添いつつも社会正義をふりかざすことはない。映画作りは「仕事とも生活とも道楽とも闘争とも分ちがたい」ものだから。9 絵画の可能性はセザンヌが汲みつくしたという諦念から絵筆を捨て映画に固有の力を追究した作家の倫理の書。その厳格さが逆説的にも読者の思考を世界に向けて解放する。10 著者はブレッソンの映画の主演に17歳で起用された。暴露的な撮影裏話としても読める本書は、しかし、それ自体が映画であることばで綴られた限りなく美しい小説。

※7の単行本を中村先生からのご紹介で購入しました。※上記の資料はすべて立教大学図書館で所蔵しています。

## おしえてライブラリー

山手線コンソーシアムの他大学の所蔵資料を簡単に調べるには？

山手線コンソーシアム検索を使う！  
利用したい資料がどの大学に所蔵されているのか、横断的に調べられます。



山手線コンソーシアム検索

## INFORMATION

学習院大学以外に利用できる山手線コンソーシアムの大学図書館

※利用する前に必ず各大学図書館の利用条件を確認してください。試験期間中により入館できない時期もあります。

(立教大学図書館ウェブサイト→サービス案内→山手線コンソーシアム)



Your Library 第16号(通号75) 発行日 2011年10月24日

編集 井川 充雄(図書館副館長) <http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/>  
 発行人 石川 巧(図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2630  
 発行 立教大学図書館

## 立教大学図書館モバイルメニュー

- 1 蔵書検索
- 2 開館スケジュール
- 3 図書館設置PC利用状況の確認ができます。



読書ナビ  
中村秀之教授  
(現代心理学部)

TAKE FREE

都内屈指の緑豊かなキャンパス 目白の杜

# 学習院大学 図書館を たずねて

# 山手線沿線私立大学 図書館コンソーシアムを 利用しよう

「読みたい本が立教の図書館にない！」  
「他大学の図書館を使ってみたい」  
そんなとき、山手線沿線私立大学コンソーシアム（以下、山手線コンソーシアム）を活用してみたいか。山手線コンソーシアムとは、立教大学を含む山手線沿線にある8校の大学が加盟している協定です。立教大学の学生証があれば、他大学の図書館を利用したり、本を借りることができます。今回は山手線コンソーシアムの中でも、立教大学に一番近い学習院大学の図書館をご紹介します！



見学に協力してくれた立教大学学生のお二人



## 法学部・経済学部 図書センター

ひろびろとした吹き抜けが  
印象的な法経図書センター

取材時は節電対策として閉じていた図書センター上部フロアに特別に入れてもらいました。建物の7階から山手線内を一望！



| 学習院大学図書館を利用するには… | 閲覧・貸出可能日          | 入館手続き             | 貸出条件   | 利用にあたっての注意事項  |
|------------------|-------------------|-------------------|--------|---|
|                  | 学内試験期の7月、1月を除く開館日 | 入り口で学生証または教職員証を提示 | 3冊／2週間 | 大学図書館・法経図書センターの利用については事前連絡は不要です。上記以外の資料を利用する場合、立教大学図書館を通しての「事前連絡」と所属図書館発行の「紹介状」が必要です(閲覧のみ)。 |

## 学習院大学 ミニキャンパスツアー

血洗いの池

もともとは湧水でできた池で、昔は灌漑に用いられ、水門があったそうです。その後学習院の構内になってから、忠臣蔵で有名な赤穂浪士の一人、堀部安兵衛が高田馬場の決闘で叔父の仇を討った際、刀についた血を洗ったという伝説ができ、いつしか「血洗いの池」と呼ばれるようになったとされています。



■東別館は大正2(1913)年に竣工された、キャンパスで最も歴史ある建物のひとつです。ちなみに立教のモリス館は大正7(1918)年竣工です。  
■なんとこの東別館はまだ現役の校舎であり、少人数の演習などで教室として使われています。

■当時の学習院は全寮制で、東別館は皇族学生の別寮として使用されていました。玄関のポーチ正面を桜の紋様が飾っています。

明治の  
香り漂う  
東別館

正面玄関の  
桜の紋様



キャンパス内にグラウンドがあり、取材時は野球部の練習中でした

学習院生による立教大学図書館の見学レポートは、学習院大学図書館広報誌『来ぶらり』No.88に掲載されています！ 学習院大学図書館のウェブサイトでも閲覧できますので、ぜひご覧ください！

コラボwith  
学習院大学  
図書館

立教大学を訪問して  
くださった学習院  
大学生のみなさん

## 学習院 大学 基本情報

JR目白駅より徒歩1分  
法学部 経済学部 文学部 理学部の4つの学部が1キャンパスに連なっています。立教大学の学生は、大学図書館と法学部・経済学部図書センターの2館を利用できます。



キャンパスは目白駅の目の前です

## 大学 図書館



森の中にたたずむ4階建ての  
大学図書館(入口)

入口



← 窓の外に目を向ければ、  
木々の様子が癒されます

← 最上階の4階には飲食可能な休憩  
スペースもあり、長時間滞在も  
可能です



館外貸出を希望すると、「学習院図書利用証」(写真)を発行してもらえます。大学図書館1Fカウンターにて受け付けています(閉館30分前まで)。